

① キリンビール跡地については町当局の努力により、マニー株式会社の進出が決定され町民の皆様は大変感動と共に地域発展を願っております。

また、JR下野花岡駅周辺の農地整備の活用が期待されており、このような状況において、町当局のご理解とご指導により地域発展が実現されますようご期待いたしますと共にJR下野花岡駅駅舎を、線路南側へ移動接地することにより利便性の向上が図られますようご指導とご尽力をお願いいたします。

**【回答】**

市街化調整区域については関係法令等により開発が難しいのが現状ではありますが、JR下野花岡駅周辺につきましては、今後マニー株式会社の進出により状況の変化なども予想されることから、操業後に地元住民などが中心となり地域コミュニティ再編に関する議論等との連携のもと、地域の総意として具体的な整備に向けての提案や取組などが挙げられた際には、その必要性などを精査し、各法令等に基づき適切な助言や関係機関との調整を行ってまいります。

このことから、JR下野花岡駅周辺の農地の活用や駅舎の移設などにつきましては、現時点では時期尚早であると考えております。

② 元キリンビール周辺の農地を中間管理機構を活用し、整備事業により園芸作物等を導入し農家所得の向上を図るための事業展開実現の為、ご指導をお願いいたします。

**【回答】**

農地整備事業の一つの手法である「農地中間管理機構関連農地整備事業」については、農業者の経済的負担なく整備が実施できるというメリットがある一方で、受益面積が10ヘクタール以上必要となることや事業対象農地のすべてに農地中間管理権を設定する等の採択要件があることから、地域の農業者の意向を確認しながら進めていく必要があると考えております。

なお、農家所得の向上に向けた園芸作物の導入については、県において「園芸大国とちぎづくり」を強力に推進していること等も踏まえ、平成28年度から町独自の事業としてパイプハウス及びその附帯施設等の整備費用を助成する「高根沢町園芸作物推進支援事業」に取り組んでいることから、引き続き農業者に当該事業を利用していただけるようPRに努めてまいります。

③ 宝積寺北区地域の道路については、地域住民の防災体制を考慮すると大変不安な状況と認識しております。このような現況を十分ご理解いただき早急な対応が必要であると思っておりますので、安全安心な地域社会実現の為、ご指導をお願いいたします。

**【回答】**

宝積寺北区などの宝積寺駅東側周辺地区については狭小な道路が多く、また道路側溝も整備されていないため豪雨時に雨水排除が追いつかないなどの課題があることから、降雨時の状況確認や地元要望等に基づき、必要に応じて雨水浸透柵を設置するなどの対策を行っております。

道路整備は防災体制構築の観点からも非常に重要であり、計画的かつ効率的な整備推進を行うため町では宝積寺市街地における道路網整備計画を策定しております。宝積寺北区につきましても抜本的な雨水排水対策のために道路整備と合わせて野元川まで雨水函渠を整備し放流することを計画しておりますが、事業費が30億円程度と試算されており非常に大規模であることから、町の財政状況等を考慮すると、現在整備を進めている宝積寺駅西地区の都市計画道路2路線の整備終了後の検討事項として考えております。

- ④ 県道宇都宮～向田線上高根沢木内地区において朝夕の交通渋滞緩和の為、信号機設置を図り安全安心な地域社会実現の為、関係機関に働きかけ早急な実現がなされますようご指導をお願いいたします。

**【回答】**

信号機の設置については栃木県警察本部が行うものであり、町では信号機設置の要望を行うに際しては、例年、栃木県警察本部からの照会「道路改良等に伴う信号機、大型標識の要望（必要）箇所及び供用開始予定路線の調査」を通して行っているところであります。つきましては、当該箇所への信号機設置について、今年度の要望に加えて栃木県警察本部に提出することといたします。

- ⑤ 農政を取り巻く状況は大変厳しいと思われませんが、本年度は米余り状況において米価の下落等が予測されています。このような状況に対して政府は耕畜連携により飼料米作付面積を拡大し、問題解決を図るため努力しております。

反面、飼料米価格は13年に価格設定がなされ見直しが必要と関係者は申しております。

本町の、基幹産業の農業が充実されると共にカントリーエレベーター使用料金の見直しについても関係機関に働きかけ、生産者の生産意欲向上を図るためご指導をお願いいたします。

**【回答】**

主食用米については、年々国内において需要が減少している一方で国の指針に対する作付超過が続いていることから、価格の大幅な下落が心配されております。

そのような中において、令和3年度における飼料用米作付けに対する助成制度は、新

たな2つの支援策として、県・国設定の「作付転換拡大助成」と県設定の「産地交付金」が設けられ、大幅に拡充されることとなりました。

町においても、町再生協議会による支援策として、「水田収益力強化ビジョン」における地域の振興作物に引き続き飼料米を設定して産地交付金の対象とし、農業者の所得安定に取り組んでまいります。

また、カントリーエレベーターの使用料金については、農業者の所得に直接影響があることから、運営している「JAしおのや」に対して、より利用しやすい料金体系に向け努力していただけるよう様々な機会を通じて依頼してまいります。

⑥ 県の、一級河川改良事業（3～5年）計画で自然災害の対応として中洲除去及び危険箇所点検等を含めて事業展開を図る事を目的として行うとのことです。

本町の、一級河川五行川も事業展開を図り安全安心なる地域社会実現のためご指導を、お願いいたします。

【回答】

町内の一級河川につきましては、河川を管理している矢板土木事務所において堤防の強化や川底の土砂の浚渫、防塵舗装といった整備や維持管理を計画的に行っており、五行川についても令和元年度から令和2年度にかけて大谷・太田地区の約2,900mの浚渫工事を実施していることから、環境整備や災害対策などについては、引き続き矢板土木事務所と情報を共有してまいります。